



# 地域医療連携 ニュース



## TOPICS

- 副院長就任のご挨拶
- 診療科長就任のご挨拶
- 眼形成眼窩外科外来開設のお知らせ

地域医療連携室 TEL:045-974-6571  
FAX:045-974-4325



藤が丘病院 副院長

田中 邦哉

Kuniya Tanaka

消化器センター消化器・一般外科の田中邦哉です。本年4月  
付けて副院長を拝命致しました。

地域医療支援病院である当院は、専門的検査や専門的治療、高難度手術、ロボット支援による先端手術などに取り組み「地域完結型医療」の中心的役割を担っております。また近隣医師会とも協調しながら地域医療支援病院として地域医療への貢献を目指しています。最近では、地域連携強化の一環として昭和大学の附属病院全体のプロジェクトである“二人主治医制”的活用を積極的に推進しております。

救急医療に関しては、2次・3次救急に対応する救命救急センターに加えて、心臓ホットライン、脳卒中ホットラインを設けて24時間対応可能とすることにより、迅速な救急医療を提供できる体制を整えています。また、当院には地域医療連携室や総合サポートセンターが整備されておりますが、最近では連携室にご相談頂いた緊急症例の対応に関して、迅速に判断・対応できるよう手術室や集中治療室および関連部署の間で院内ラインワークスを活用しリアルタイムで情報共有を行なっており、症例受入れの強化を推し進めております。

さらに重症症例に対する新たな試みとして、遠隔集中治療システム（eICU）の運用を開始しています。eICUでは、昭和大学病院の支援センターと当院とを遠隔的に生体モニター、高解像度カメラ、音声装置で繋げ、重症症例の見守り、主治医への治療アドバイス等を24時間365日行っており、より良い集中治療管理による成績の改善を目指しています。

以上のように、先端的医療を取り入れながら、地域医療と連携しつつ様々な貢献が出来るように、藤が丘病院としての役割を果たしております。今後、副院長としての立場から、藤が丘病院の一員としての責務を果たして参る所存です。地域の先生方におかれましては引き続きご指導下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

# 診療科長就任のご挨拶

## 呼吸器内科 診療科長就任の挨拶



呼吸器内科 診療科長

横江琢磨

Takuya Yokoe

2023年4月から当院呼吸器内科診療科長を拝命致しました横江琢磨です。呼吸器疾患は多岐にわたり、患者数は年々増加しています。気胸、膿胸、肺癌など外科的処置や手術が必要な場合は呼吸器センターの呼吸器外科と協力して診療しています。肺癌等の悪性疾患は呼吸器外科、腫瘍内科、放射線科で構成されているキャンサーボードで最適な治療方針を決定しています。また、藤が丘リハビリテーション病院にも常勤医を配置し、連携して診療しています。気管支鏡検査は年間200件以上、在宅酸素療法の導入は年に100件以上、睡眠時無呼吸患者へのCPAP導入も年に100件以上行っています。当院での診療が必要な場合や、診断治療が難渋する呼吸器患者さんは是非ご紹介頂き、継続的な診療が必要な場合は当院で導入を開始した二人主治医制により、地域の先生方と共に継続診療させて頂きますので、今後ともご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願い致します。

## 呼吸器外科 診療科長就任の挨拶

2022年10月より当院呼吸器外科に赴任し、2023年1月より診療科長を拝命しました、吉田勤と申します。私は2000年に杏林大学医学部を卒業し、杏林大学医学部第二外科学教室（現呼吸器・甲状腺外科）に在籍して、一般外科および呼吸器外科の研鑽を積んでまいりました。また筑波大学で基礎研究と診断病理学を学び、出向先の群馬県立がんセンターおよび結核予防会複十字病院では呼吸器外科と病理診断を兼任してきました。

当院呼吸器外科では、呼吸器センターの一部門として呼吸器内科と密に連携し、診療を行っています。手術が必要な患者様の治療方針は、呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科・腫瘍内科との合同カンファレンスにより協議し、手術は低侵襲な胸腔鏡手術を積極的に導入しています。また当院の救急医療センターに搬送された胸部外傷の患者様に対しても、各診療科と連携して対応しています。

昭和大学外科学講座呼吸器外科部門の一員として、昭和大学病院呼吸器外科、昭和大学横浜市北部病院呼吸器センター外科、昭和大学江東豊洲病院呼吸器外科と協力し、専門性が高く、かつ安全で低侵襲な外科治療を目指しています。



呼吸器外科 診療科長

吉田 勤

Tsutomo Yoshida



## 小児科 診療科長就任の挨拶

はじめまして、私は本年4月より当院小児科診療科長を拝命しました神谷太郎と申します。地域の医療機関の関係者の皆様におかれましては、平素より当院の地域連携業務にご協力いただきありがとうございます。

現在、小児科では小児科専門医3名を含む7名の医師で診療をおこなっております。診療内容では、腎疾患（泌尿器疾患を含む）・アレルギー疾患・内分泌疾患等、各分野の診療をおこなっております。そのうち、新しく2名のアレルギー専門医が異動してきております。対象疾患の方がおられましたらご紹介いただければと思います。

入院診療および夜間の診療に関しましては、現在受け入れを中止しております（検査入院を除く）。先生方にはご不便をおかけしておりますが、入院加療の必要な方に関しては、昭和大学横浜市北部病院と連携し対応させていただいております。

引き続き地域医療機関の先生方と連携をとり、地域医療に貢献したいと考えております。今後ともよろしくお願ひします。



小児科 診療科長

神谷 太郎

Taro Kamiya

## 放射線科 診療科長就任の挨拶

はじめまして、本年4月より当院放射線科診療科長を拝命いたしました堀祐郎です。私はIVRと循環器画像診断を専門としてきましたが、当科には画像診断のスペシャリストが揃っております、依頼のあった画像検査に対して診断レポートを作成し、病院の診療の質の向上に努めております。

放射線科は地域の先生方から直接患者さんをご紹介いただくことは少ない科ではございますが、CT・MRI・核医学検査の画像受託検査を行なっております。受託された画像診断の報告書は放射線診断専門医が作成しております。丁寧な所見の拾い上げと見やすい記載に努めております。画像受託検査については、地域医療連携室にお問い合わせください。なお画像診断結果がお手元に届くまでには、3日～5日程かかりますのでご了承ください。IVR治療に関しては、該当領域の診療科に入院していただき、院内からの依頼に対して行っておりますので、該当科にご相談ください。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



放射線科 診療科長

堀 祐郎

Yoshiro Hori

# 眼形成眼窩外科外来開設のお知らせ



## 眼形成眼窩外科とは？

全国でも希少な専門診療科で、眼球外の疾患を対象としています。

具体的には、眼瞼下垂、眼瞼内反、睫毛内反、眼窩骨折、眼窩内異物、眼瞼腫瘍、眼窩腫瘍、涙道損傷、涙道閉塞などの治療を行います。



形成外科  
**小島 康孝**

Yasutaka Kojima

2023年4月より当院の形成外科外来内に「眼形成眼窩外科外来」を開設させていただきました、小島康孝と申します。

当外来では、処置室で施行可能な生検術や切開排膿などを除き、全例顕微鏡下の手術加療を行い、機能のみでなく整容面での問題にも配慮するように心がけております。なかでも、形成外科・眼科双方の見地からみた眼窩骨折整復術や、可能な限り機能を温存した眼瞼悪性腫瘍の再建などは当外来ならではの治療であり、他にも特殊検査的治療として、涙道閉塞に対して涙道内視鏡および鼻内視鏡を導入し、より正確な治療を目指しています。

眼形成眼窩外科は、1987年に聖隸浜松病院で誕生した専門診療科です。私は2021年4月より2年間、聖隸浜松病院の眼形成眼窩外科に在籍し、本流の手術を豊富に経験してまいりました。今後は、この2年で培った技術と知識を、昭和大学藤が丘病院を中心に、近隣の患者さんに還元していきたいと考えております。

現在、形成外科専門医の私1人で担当しているため、不在日もある状態ではございますが、眼窩骨折や涙道損傷などの緊急性のある外傷を可能な限り対応し、毎週金曜日に外来日を設け、より多くの患者を受け入れる所存でございますので、紹介や相談をお待ちしております。

## 医療機関からの初診予約について



TEL : 045-974-6571

受付時間：月曜日～土曜日 8:30～17:00

患者さんの氏名・生年月日等患者さんの情報を確認させていただき、ご予約をお取りいたします。



FAX : 045-974-4325

受付時間 月曜日～土曜日 8:30～17:00

「患者保険情報連絡票」を送信してください。

予約状況確認後、予約票兼連絡票を送信いたしますので、患者さんにお渡しください。

※「患者保険情報連絡票」は当院ホームページからダウンロード可能です。

※15分以上経過しても予約票兼連絡票が届かない場合は、地域医療連携室までご連絡ください。

日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）、創立記念日（11月15日）、当日の予約は受け付けておりません。

